

## 「安全推進会議」キックオフと、さらなる安全活動への取り組みについて

デンカ株式会社（以下、当社）は、本年4月1日に安全対策本部長（代表取締役社長）が発令した、安全衛生と保安防災にかかわる基本方針「職場の安全衛生と設備の保安防災は、すべての事業活動で最優先とする」(※)のより一層の浸透を図るため、安全活動の自主監査である「安全検討会」を「安全推進会議」に改称して、その機能を強化することといたしました。

9月25日に開催した2015年度安全推進会議のキックオフでは、安全対策本部長（当社吉高社長）と安全推進会議リーダー（綾部専務）からの、経営トップによる安全に向けた決意表明の後、全事業所をNETで結び、協力会社を含めたおよそ250名による新スローガンの唱和を行い、安全活動の推進を通じた災害撲滅を誓いました。

国内6工場とイノベーションセンターにおいて年1回実施する各事業所の安全推進会議は、本社査察チームによる「安全査察」と、安全文化構築に関わるテーマを取り上げる「討論会」の二部構成とし、安全の自主監査としての査察機能を明確にするとともに、討論では客観的な視点を取り入れて、より多くの疑問や“気づき”を得ることで、一人ひとりがそれぞれの立場で、今何をすべきかを考える機会とします。

また、今年度の安全推進会議のスローガンを「安全は全てに最優先！守るべきものは守り、変えるべきものは変えよう！」に決めました。この「守るべきもの」は先人が築いた職場の保安技術や安全対策、ルール遵守の精神を、世代を超えて確実に引き継ぐことであり、「変えるべきもの」は、自らの経験と取り組みだけでは防げなかった2013年の当社重大災害を教訓とし、他の企業の優れた安全活動を学び、災害の情報を共有し、企業の垣根を越えた安全・保安技術の探求と人材育成にむけた取り組むことなどが挙げられます。しかしこの「守るべきもの」「変えるべきもの」は、職場と役割によって大きく異なります。一人ひとりが、何をすべきかを自ら考え、自ら行動することの大切さへの思いが、このスローガンに込められています。

私たちは今一度“安全最優先”の基本に立ち返り、決意を新たに、より強固な安全文化の構築と災害撲滅を目指して、弛まぬ努力を重ねてまいります。



＜本社安全対策本部での安全スローガン唱和＞



＜青海工場での安全スローガン唱和＞

※ 安全衛生と保安防災にかかわる基本方針は、当社ウェブサイトまたは「デンカグループ CSR 報告書 2015」をご参照ください。  
<http://www.denka.co.jp/sustainability/safety/compliance/index.html>

以上

＜お問い合わせ先＞

CSR・広報室 電話 03-5290-5511